

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	議会事務局	議事課庶務係	内線等	1722
----	-------	--------	-----	------

事業コード		事務事業名	政務調査費交付金事業				
根拠法令等	地方自治法、蒲郡市議会政務調査費の交付に関する条例、同規則		A 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

その他	その他
-----	-----

事務事業の内容

対象	市議会における会派に
手段	議員1人につき年額29万円を限度とし、年2回使途基準に則って交付することにより
想定する成果	議員の調査研究に資する。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
交付額	7,160,184 円	7,293,323 円	7,540,000 円
交付金の主な用途	研究研修費（会場使用料、講師謝金等）、調査旅費（旅費、入場料）、資料作成費（新聞購読料、図書購入費等）、広報費（印刷製本費、新聞折込費等）、広聴費、事務書費、その他		

成果指標

成果指標名	政務調査費執行率	
成果指標の説明	$(\text{交付額} / (\text{議員数} \times 29\text{万円})) \times 100$	

事業の進捗状況（一般会計）

（千円）

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画			100.0%
	実績	95.0%	96.7%	
成果指標	計画			
	実績			
事業費	事業費	7,160	7,293	7,540
	人件費	836	826	842
	(人数)	0.1	0.1	0.1
	合計	7,996	8,119	8,382
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	7,996	8,119	8,382

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	議員の調査研究活動が十分になされるには100%の執行が理想である。
経済効率性	3	3	各会派報告の対象事業費の状況からみると、交付額は適正である。
事務効率性	2	2	各会派が収支報告書類をどの程度整理しているかによって異なる。
必要性	3	3	多くの市町村議会でも同様に交付している。議員の調査研究活動充実のため必要である。
小計	10 / 12 満点中	10 / 12 満点中	
市民参加度			
合計	10 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	政務調査費の支給は、議員の充実した調査活動に十分効果をあげている。ただし交付額を全額消化していない議員も一部見受けられる。
------	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

・平成13年3月27日に蒲郡市議会政務調査費の交付に関する条例及び同規則を制定し、政務調査費の交付に関する使途基準等を明確にした。これを受けて平成13年5月28日に議員対象に政務調査費の支給に関する説明会を開催した。さらに平成15年5月2日に新人議員対象に同様の説明会を開催し、注意を促した。

今後改善すべき点

・執行率が100%となるよう議員の調査研究活動の充実を促す。また恒常的に残余金が出るようなら交付額減額を検討する。今後、使途に対する厳しいチェックが予想されるため、各会派各議員には政務調査費の使途基準を十分理解してもらい、また、収支報告書類の整理・保管を徹底していただく。

平成16年度予算に反映する項目

--

組織、人員に関する提言

--

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	議会事務局	議事課庶務係	内線等	1722
----	-------	--------	-----	------

事業コード		事務事業名	全国市議会議長会等負担金事業				
根拠法令等	全国市議会議長会会則等		A 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

その他	その他
-----	-----

事務事業の内容

対象	全国市議会議長会等に
手段	負担金を支払うことにより
想定する成果	市議会相互の情報交換が得られ、議会諸問題解決の参考となる。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
団体数	15	15	13
支出額	1,401,000	1,428,000	1,459,000
主な支出先	全国市議会議長会、愛知県市議会議長会、東三河市町村議会議長協議会、東三河四市議会議員研修会等		

成果指標

成果指標名	負担金支出団体数	負担金支出総額
成果指標の説明	負担金を支出する団体数	関係団体に支出する負担金の総支出額

事業の進捗状況 (一般 会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画			13団体
	実績	15団体	15団体	
成果指標	計画			1,459
	実績	1,401	1,428	
事業費	事業費	1,401	1,428	1,459
	人件費	836	826	842
	(人数)	0.1	0.1	0.1
	合計	2,237	2,254	2,301
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	2,237	2,254	2,301

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	他の市議会等との情報交換、事例研究等により、議会運営上成果があがっている。
経済効率性	3	3	他の市議会等との情報交換、事例研究等により、議会運営上金額では計り得ない効果がある。
事務効率性	3	3	負担金請求に基づく会計事務のみである。
必要性	2	2	議会で生じる諸問題解決のため必要であるが、一部に必要性の少ない団体等への参加があるのではないか。
小計	11 / 12 満点中	11 / 12 満点中	
市民参加度			
合計	11 / 15 満点中	11 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	全国市議会議長会等への参加は、議会改革等の動向、情報の交換など、議会運営上非常に参考となっている。また各種研修会への参加は、当面の議会における諸問題の解決に役立っている。
------	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

- ・市議会功労者会総会負担金はこれまで順次減額してきたが、15年度からは廃止とした。

今後改善すべき点

- ・参加の必要性に疑問のある負担金があれば、会への参加取り止め、廃止する方法で検討していきたい。

平成16年度予算に反映する項目

組織、人員に関する提言

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	議会事務局	議事課議事係	内線等	1725
----	-------	--------	-----	------

事業コード		事務事業名	議会だより発行事業				
根拠法令等	蒲郡市議会広報発行要綱		A 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

その他	その他
-----	-----

事務事業の内容

対象	市民（議員・行政機関を含む）に
手段	市議会の活動状況を市民に周知することにより
想定する成果	市議会に対する市民の理解と協力を得る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
発行回数	年4回	年4回	年5回
発行部数	27,100	27,100	27,100
発行費用	1,644,698	1,365,840	1,593,480

成果指標

成果指標名	議会だより1部当たりの作成事業費
成果指標の説明	事業費合計 / 発行回数 / 発行部数

事業の進捗状況（一般会計）

（単位：千円）

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画			11.76円
	実績	15.17円	12.60円	
成果指標	計画			
	実績			
事業費	事業費	1,645	1,366	1,593
	人件費	5,851	5,784	5,895
	(人数)	0.7	0.7	0.7
	合計	7,496	7,150	7,488
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	7,496	7,150	7,488

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	議会だよりの内容は、どうしても固くなる傾向がある。より親しまれるものにしていくのが今後の課題である。
経済効率性	2	2	先進都市にくらべ、1部当たりの単価はまだ高い。さらに良いものをさらに安価に作成していきたい。
事務効率性	3	3	原稿の作成・校正等を、ほとんどの職員で行っている。発行までの日数や人員は、適正であると思われる。
必要性	3	3	住民の代表である議員の議会活動を知らせるために議会だよりの発行は不可欠である。
小計	10 / 12 満点中	10 / 12 満点中	
市民参加度	0	0	議会だよりの内容の性質上市民参加は難しいと思われるが、傍聴した市民の感想等を掲載することも一考である。
合計	10 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	レイアウト、記事の内容など現在の議会だよりは、ほぼ及第点であると思う。しかし、より親しまれる内容、より安価な値段にしていく不断の努力は必要である。さらに、市民参加の場を考え、議会だよりが、議会と住民との共通の広場になるようにしていきたい。
------	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

・平成9年度から、広報がまごおりと同様に議会だよりの全世帯配布だけでなく、市内JR3駅、公共施設に置くようにした。議会だよりは議会事務局のホームページで閲覧もでき、さらに、今年度からPDFファイルにしたので、紙媒体と同じような感じで読むことができるようにした。

今後改善すべき点

・カット、写真などを適宜配置し、さらに読みやすいに工夫する。市民参加の場として、例えば、本会議を傍聴した市民の感想等を掲載したり、一つのテーマを決め、各会派の議員と市民とが懇談会を開催し、その内容を掲載することも興味ある試みだと思う。

平成16年度予算に反映する項目

--

組織、人員に関する提言

--

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載